

## 【前書き】

「何？ 今の魔法のような対応！」

ある日、1歳の息子に何げなく発した声かけを聞いたお母さんたちから、質問攻めにあいました。

確か、大人たちが話し合いをしていたテーブルの上で、息子がミニカーで遊び出したので、「あっちのほうが長い距離を走れるよ～、ビューンとお部屋を1周してきたらどうかな？ どんな景色が見えたか、戻ってきたら教えてね」と部屋の隅を走るよう促したときのこと。

私としては何か特別な対応をした意識はありませんでした。

それよりも、「今、大切な話をしているから、あっちに行ってね」という親の都合を押し付けるのではなく、息子に気持ちよく場を離れてもらおうと思って息子に話しかけただけ。

でも、そのときの周りのお母さんたちの反応で、初めて自分の声かけが、ある意味、特別なものだと気付きました。

ガチガチに固めた正論で真っ向から説明をしたり、指示したりするよりも、子どもが楽しく、そして親が楽チンになれることに重きをおく。

まさに「ちょろまかし育児」。

言い方は悪いですが、子どもを手のひらの上で転がすことができると、子育てはゲンと楽になります。

言葉がけ一つで子どもは変わる。

そんな瞬間を何度となく体験し、悩んでいるママたちに、もっとしなやかに生きてほしいと思うようになり、サポートも始めました。

最初は細かなことに悩んでいて、アドバイスに対して驚くばかりだったお母さんたちが、ほんのちょっとのきっかけで、楽しく育児ができるようになる姿に、心が熱くなったりもしました。

子育てって、実は楽しいんです。

多くの人に、そんな気持ちを体感してほしい。

小手先の技術ではなく、子どもの要望の本質を見極め、何より自分も楽になってほしい。

子育てで大切なのは、母親力です！

ただし、構える必要はありません。

楽しく育児をしながら、自分自身も成長していきませんか？

この本では、精神論だけではなく、具体的にすぐに取り組めるアドバイスをたくさん詰め込みました。

あなたの子育てが、楽しくなることを心から願っています。